

## 「勇気」について



「親切」、「正直」、「誠実」、「礼儀」など人として身に付けたい美德を挙げればいくつもあります。「勇気」もその中の一つですが、勇気は多くのその他の徳目と比べて特別のもののように思います。

例えば、他人に対して親切を心掛けたいと思ったとしましょう。しかし、そのように思っただけではだめで、それを行動であらわすことができなければ意味がありません。親切な心を表現するには勇気が必要な場合が多いように思います。バスの中で、お年寄りに席を譲りたいと思っても、思い切って立ち上がって声をかける勇気がいりますし、人前で照れくさい気持ちを振り払わなければならない場合もあるでしょう。誠実な生き方をするためには、勇気を奮って自分で主張しなければならないこともあります。このような場合、ためらいを押さえ勇気を出して行動しなければなりません。気が付いたり、頭の中で考えることができても、勇気を出して行動で示さなければ無意味でしょう。

このように考えると、「勇気」は多くの徳目の基礎となるように思われます。

ところで、「勇気」とは、敵に対して勇敢に立ち向かったり、悪や不正を憎み、自分の危険も顧みず戦ったりする、いわば外に向かっての行為を思い浮かべますが、前に挙げたような自分の内に向けての勇気もあると考えてみたいのです。「静かなる闘志」という言葉がありますが、その様な意味での「勇気」は、生活のあらゆる場面で必要なものでしょう。



「お金を失うことは少し失うこと、名誉を失うことは多くを失うこと、勇気をなくすことは、すべてをなくすこと」というゲーテの言葉の意味もよくわかる様な気がします。

「勇気」という言葉は、若い人たちにこそふさわしい言葉です。子どもたちが、何事に対しても胸を張って積極的にチャレンジできる大人に育ってほしいと思います。そのためには、我々、大人が規範を示していくことが必要です。私自身も子どもたちの目を意識し、率先して規範が示していけるよう頑張りたいと思います。

## 音読発表会を実施します

今週から小低部や小中部で音読発表会を実施します。

まずは、今週、小低部1年で発表会をします。この日に向けて、子どもたちは一生懸命練習をしてきました。人前で音読することは、大変、勇気いることです。すごく緊張もすることでしょう。この体験は、今後の学習に向けても大変有意義なことだと思います。

来週は、小低部2年生が実施します。また翌々週は、小中部3年生が小低部2年生の前で実施します。先輩として、立派な音読を発表してくれることでしょう。

子どもたちの成長が感じられるような、暖かい音読発表会になることを期待しています。



## 卒業式の練習が始まります



卒業式が近づいてきました。この時期が来ると必ず、教員としては、「立派に成長してくれた子供たち誇りに思う気持ち」と「子どもたちの手を放す寂しさ」を感じるます。また、「自分は子どもたちに最大限教えることはできたのだろうか」という自責の念も感じます。子どもたちの練習の歌声を聞きながら、できることなら、この時間がずっと続けばとも思ったりします。私個人にとっても、この学校での最後の卒業式、思いで深いものなることを期待しています。

## 銀行引き落としのご準備を

2017年度の第1期分の銀行引き落としが3月13日(月)に行われる予定です。出費多端な折りではありますが、ご準備の程、宜しくお願ひいたします。なお、本年度をもって退学をご希望されるご家庭におかれましては、正式な退学届をご提出願ひます。ご提出がない場合は、自動的に銀行引き落としが行われますので、ご注意ください。

